

	児童の実態	指導上の課題	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
国語	<ul style="list-style-type: none"> 読書が得意な児童が少なく、読書意欲が見られない。 漢字の定着は児童によって差が大きい。 音読に意欲が見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の読み取りが苦手な児童が多い。 漢字の定着は児童によって差が大きい。 音読に意欲が見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章に対して自分の考えを明確にして、互い感想や意見を伝え合う場を設定する。 読書意欲を高めるために、年間を通して読書を意欲的に取り組むように指導する。 読書の楽しさを伝えるために、読んだ本について好きなところを紹介する活動を行う。 自作の文章や朝の習熟の時間や家庭学習を活用して、読書の楽しさを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して世の中のことについて興味を持って見聞を広げ、朝の発表や作文の書き方を指導する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習には意欲的に取り組む児童が少なく、内容が浅い。 教科書や資料に書いてある事柄を正確に読み取れない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習には意欲的に取り組む児童が少なく、内容が浅い。 教科書や資料に書いてある事柄を正確に読み取れない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を明確にし、自分が重点的に取材して課題を明確に理解させてから見学に行かせる。 児童の理解が難しいであろうと思われる場面には、学習内容を具体的にイメージできるように工夫する。 教材や教具を工夫する。 児童の習熟度の差に丁寧に応じられるよう、児童の学習態度や手立てを考慮し、少人数指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 米作り体験は総合科と並行して行う。 普段の授業から多くの資料を準備し、活用させる。活用も行う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 計算力に差がある。 文章問題など思考力を要するものが多く、数や計算が苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算力に差がある。 文章問題など思考力を要するものが多く、数や計算が苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材や教具を工夫する。 児童の習熟度の差に丁寧に応じられるよう、児童の学習態度や手立てを考慮し、少人数指導を行う。 既習事項を系統的に指導する。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 身近に興味を持っている児童は少ない。 実験や器具を使った観察に意欲を持って取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた時間内で、知識を定着させることが難しい。 実験や観察の観察を怠り、大きな課題を見失うことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題をはっきりさせて、興味を持たせる工夫を、それを調べるための実験観察であらゆることを意識させるようにする。 それとそれとが主体的に取り組めるように、予想したり、実際に確かめたりする時間を確保する。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動の好きな児童が多い。 腕力が不足して自分の身体が動かされることができない児童が多い。 持久力が不十分な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能面で苦手意識をもっている児童に、対しての手立てが必要である。 体力のない児童には、工夫を凝らす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動を通して、得意な児童が苦手な児童に対してコツを教えるよう指導する。 いやでも楽しく取り組める「なわとびカード」「なわとびマラソンカード」などを準備し、取り組ませる。 体を動かさず、かたがた視覚的にわかる資料や掲示物を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> マラソン大会 なわとび検定 なわとび名人の活用
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 決められたことはしっかりと行おうとする児童が少なく、人と協調して生活することができない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態を見極め、その時に応じた適切な教材を準備する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> なるべく身近な問題を題材にした教材を作る。 考えを出し合い、考えを深める時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループエンカウンターを活用し、コミュニケーションを多くとる。
特活	<ul style="list-style-type: none"> 何事に対しても真面目に取り組む、高学年としての自覚をもって活動出来る児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員の児童が達成感を持てるように指導する。 集団としての活動をする際、自分本位の行動を止め、集団全体を見よる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して5年生全員がリーダーとして活躍できる場を設定する。リーダーの経験やリーダーを支える経験を通して成長させる。 活動の振り返りをしっかりとさせる。 来年度は自分だという意識を常に持ち6年生の様子をよく見ようという年間を通して声をかける。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習は意欲的に取り組む。また調べてまとめる発表する力も弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を明確にし、イメージがうまく広がるような資料を準備するなど計画的な授業を組み立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に活動の内容について知らせ、適切な課題を設定させる。 体験活動を生かしたり、ゲストティーチャーを活用したりする。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 英語活動に関してはとても関心が高く、楽しみにしている児童が多い。 正しい発音ができず、発音が聞き取れない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と仲間とでお互いにコミュニケーションをとることが大切であり、楽しさを共有できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員で楽しく取り組めるように歌やダンス・ゲームなどをたくさん取り入れる。 声をしっかりと出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> カードの活用